

産業連関表に見る「わが国の産業構造」

KSL PRism Risk Structure Visualizing System の経済分析への応用

産業連関表とは 総務省ホームページ：http://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/data/io/ より抜粋

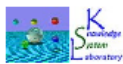
産業連関表は、作成対象年次における我が国の経済構造を総体的に明らかにするとともに、経済波及効果分析や各種経済指標の基準改定を行うための基礎資料を提供することを目的に作成しており、一定期間（通常1年間）において、財・サービスが各産業部門間でどのように生産され、販売されたかについて、行列（マトリックス）の形で一覧表にとりまとめたものです。

ある1つの産業部門は、他の産業部門から原材料や燃料などを購入し、これを加工して別の財・サービスを生産し、さらにそれを別の産業部門に対して販売します。購入した産業部門は、それらを原材料等として、また、別の財・サービスを生産します。このような財・サービスの「購入→生産→販売」という連鎖的なつながりを表したのが産業連関表です。

産業連関表の仕組みを利用して、ある産業に新たな需要が発生した場合にどのような形で生産が波及していくのかを計算することができます。

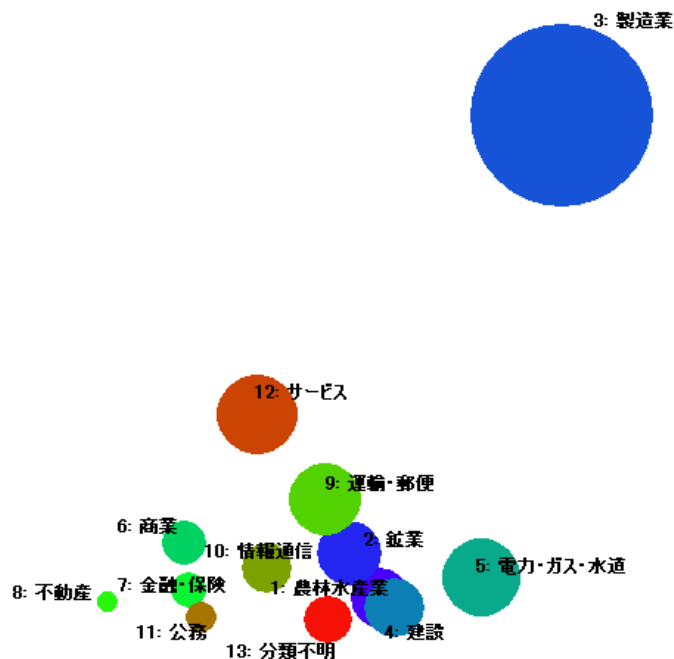
原則として、西暦の末尾が0及び5の年を対象年として、関係府省庁の共同事業として作成し、最新の産業連関表は、平成23年（2011年）を対象年とした産業連関表（確報）（平成27年6月16日公表）です。

■わが国の産業構造 2011年



2011年 平成23年
産業連関表
13部門

供給

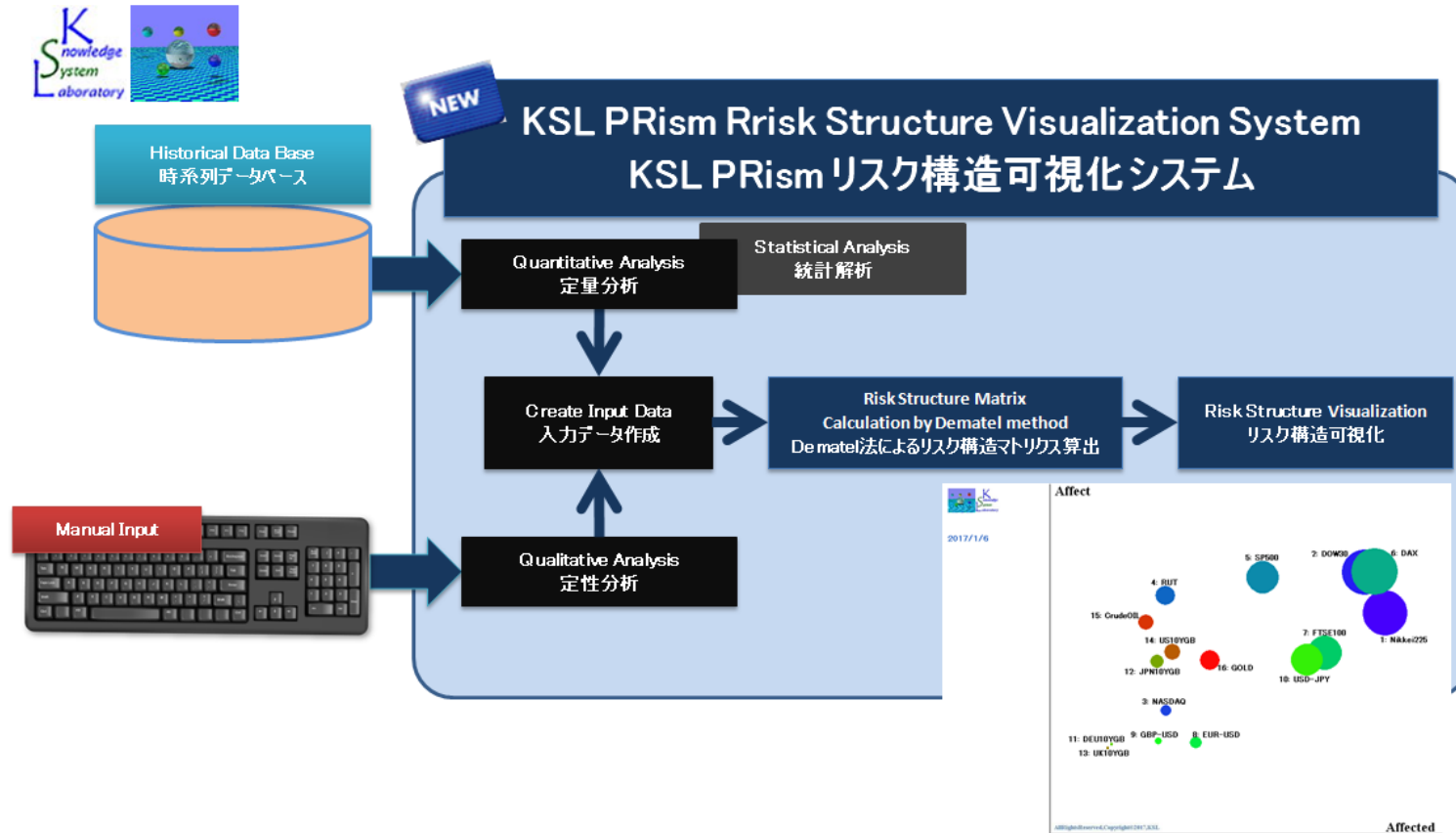


All Rights Reserved, Copyright © 2017, KSL

需要

詳細は、お問い合わせください。 info@ksl-jp.com

Overview of KSL Risk Structure Visualizing System



View of Risk Structure Graph

2017/1/6

